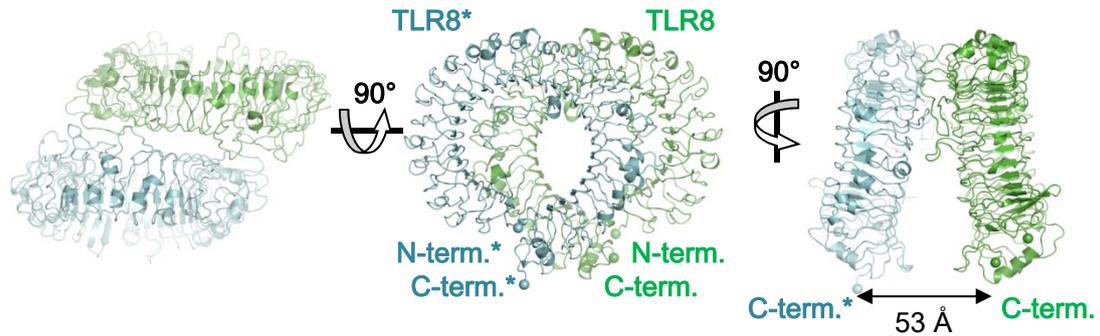


リガンド非結合型TLR8



リガンド結合型TLR8 (CL097複合体)

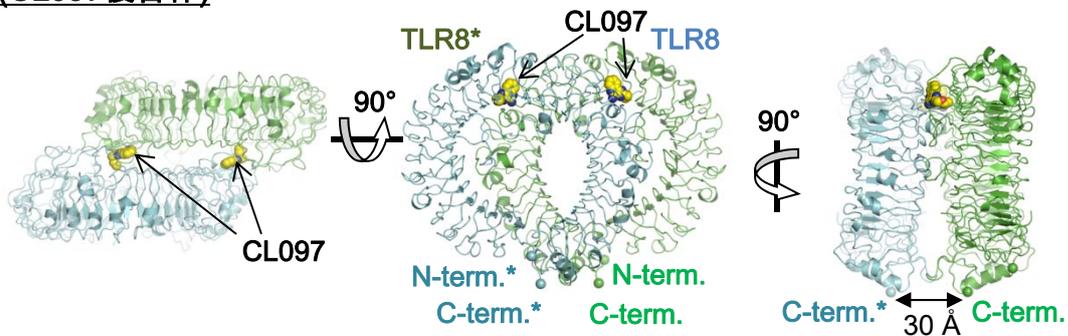


図1. TLR8の2量体構造

(上図)リガンド非結合型のTLR8。(下図)リガンド結合型のTLR8 (CL097複合体)。2量体を形成するTLR8分子の一方を緑色で、他方を青色で示している。リガンドは2量体に2ヶ所で結合している。リガンド結合型では、C末端同士の距離が近くなっている。

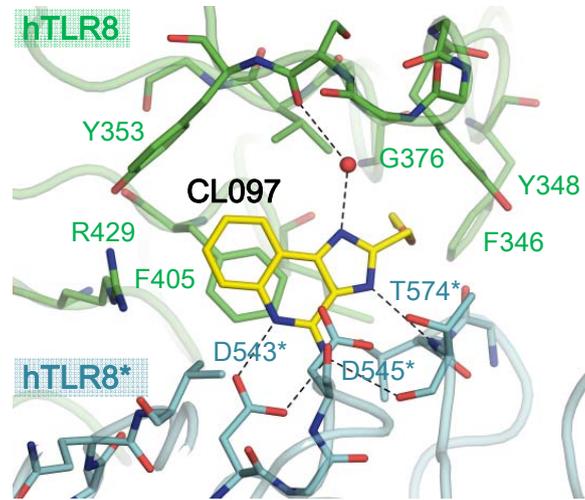


図2. TLR8のリガンド結合部位の拡大図

CL097複合体について示している。リガンド(黄色)は、緑と青で示す2分子のTLR8の間に結合している。水素結合を点線で示している。CL075複合体、R848複合体もほぼ同様の格好で結合していた。

TLR8の活性化機構

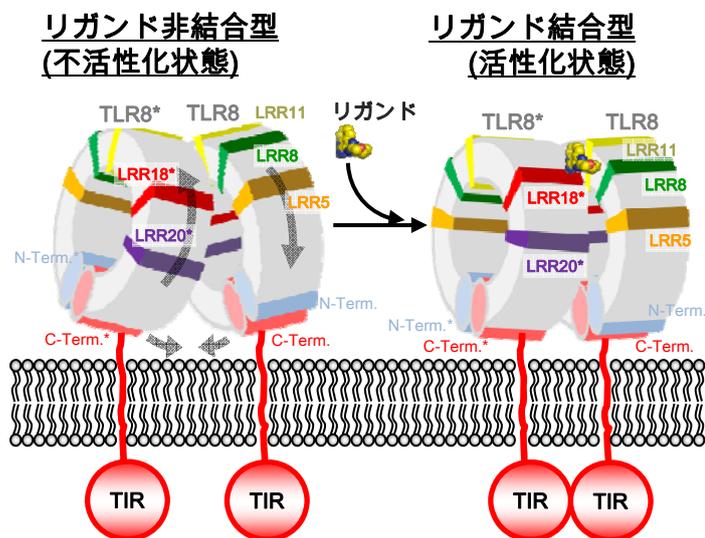


図3. TLR8の活性化機構

TLR8の活性化のモデル図。リガンド結合によりTLR8のC末端側が近接することで細胞内TIRドメインが近接し、細胞内へと情報が伝わるものと考えられる。